

■委員会報告■

青少年奉仕委員会 中川めぐみ委員長

8月の理事会にて承認いただきましたインターアクトクラブへの協賛金を、8月20日に岩手女子高校へ岩井澤会長と訪問し贈呈してまいりました。

文化祭（今年は内部発表のみ）当日でしたので、インターアクトクラブや、その他文化部の展示等の見学もでき、短い時間ではありましたが、荒屋敷校長と大坪教諭と部長部員の生徒さんから、日頃の活動についてのお話も聞けました。コロナの心配はございますが、今後もクリスマス会やインターアクト年次大会の出席等を通じて交流が持てれば幸いです。



第8回例会 2021年8月25日(水) 雨 No. 2990

■卓話■ 工藤 泰会員

歴史『ぶらぶら散歩』～独断と偏見・日本の権力者散見～

1. 古代国家の誕生：仏教信仰と律令国家の始まり－倭国内戦終結
 邪馬台国の女王卑弥呼と日本武尊・日本の女帝は何人？東洋初の女帝推古天皇と聖徳太子
2. 古代の政治家と皇族一族支配：権力二重構造・仏教伝来552年
 藤原氏一族…藤原不比等（659～720）臣下臣籍拮抗型・藤原緒嗣（774～843）外戚猛威型・藤原兼家（929～990）摂政関白家謳歌型
3. 仏教と文化人・平安王朝文化と歌人・飛鳥、奈良、平安で450年
 鑑真（688～763）、道鏡（？～772）、行基（668～749）・柿本人麻呂と万葉歌人
 天台宗開祖の最澄（767～822）と真言宗開祖の空海（774～835）・源氏物語の紫式部か枕草子の清少納言か、美貌歌人の小野小町
4. 平将門の「新皇」宣言と源平争乱で貴族政権から武家政権へ150年
 地方混乱から武士誕生：平将門 関東一円制圧（939）・源義家 後三年の役鎮圧。藤原清衡、秀衡（？～1187）奥州平泉に独立王国誕生・中尊寺建立。平氏；桓武天皇から平高望、平将門（1118～1181）、平忠盛、平清盛、北条時政
 源氏；清和天皇から源頼朝（1147～1199）、八幡太郎義家、源頼朝、源為朝、木曾義仲、北条政子。栄華を極めた
 平氏追討に立ち上がった源氏、1185年壇ノ浦の戦いで決着、源頼朝鎌倉幕府設立
5. 鎌倉幕府の成立・南北朝を経て室町幕府、安土桃山で約420年
 北条氏系図：北条政子（1157～1225）から

北条高時（1303～1333）まで執権政治の確立。天皇・将軍（摂家将軍、親王将軍）得宗、執権。鎌倉幕府権力3重構造から5重構造へ：足利氏、細川氏、三好氏--天皇、将軍、得宗、執権、地方実力武士。朝廷分裂と歴史の評価：60年間2人の天皇。南朝；後醍醐天皇 楠木正成と新田義貞、北畠顕家と護良親王、北朝；足利尊氏と高師宣。足利義光、義正を中心に室町幕府存続、応仁の乱（1467～77）で戦国時代の幕開け。北条早雲に始まり武田信玄、上杉謙信、朝倉義景を経て三強時代へ。浄土宗の開祖法然、「歎異抄」で悪人正機を説く浄土真宗の開祖親鸞。臨済宗の栄西、禅宗曹洞宗、「只管打坐」の開祖道元、時宗開祖の一遍、迫害を受け法華経至上主義に徹した日蓮。室町幕府と東山文化を開花させた足利義満、足利義政、銭貨で大乱を納めた日野富子、執権として権力行使の細川家、三好一族。水墨画の世界を一変させた雪舟、日本風漢画様式を確立した狩野正信、義満将軍に愛された能の大成者観阿弥、俳諧開祖の山崎宗鑑、池坊華道の祖池坊専慶、連歌の宗祈、侘び茶の祖村田珠光

6. 群雄割拠、下刻上の戦国時代から信長（15年間）秀吉（13年間）の天下統一を経て1603年徳川幕府成立
 260年の天下泰平へ
 天下布武を掲げ近世への道を切り開き本能寺で散った織田信長（1568～1582）、既存の権威を次々と破壊寺社勢力にも対抗、宣教師容認。関東制覇を夢見た北条早雲、東北の大大名伊達輝宗、最上義光、中島で有名な甲斐の虎武田信玄、越後の竜上杉謙信、織田家中随一の勲親から反逆者の道を選んだ知将明智光秀、信長に抵抗敗北した今川義元、浅井長政。信長の覇業を

- 引き継ぎ天下人にまで上り詰めた下克上の体現者豊臣秀吉（1585～1598）は関白になり全国統一、キリシタン禁令、朝鮮に2度出兵。最後の将軍足利義昭、中国路に覇をとなえる毛利元就、キリスト教王国を夢見た九州の王大友宗麟、織田家譜代家臣柴田勝家、九州島津義久、小田原北条、奥州諸大名を1590年天下統一合計1843万石。戦国時代の商人で切腹して果てた茶道大成者千利休、武将にして作庭にも秀でた小堀遠州、堺商人津田宗及、家康の命で自刃した古田織部、現代歌舞伎の基礎を築いたといわれる出雲阿国、囲碁の名人本因坊算砂、桃山絵画の狩野永徳。戦乱の世を終結させた関ヶ原の戦いと大阪夏の陣を勝利した徳川家康、秀吉の死後僅か5年、遂に征夷大将軍に任命される。敗北の西軍武将豊臣恩顧の筆頭石田三成、毛利輝元、宇喜多秀家、上杉景勝、秀吉の忘れ形見豊臣秀頼、豊臣家存続に命を懸けた淀殿、茶々
7. 幕藩体制確立し泰平の世を作った徳川将軍家、15代継続し平和と繁栄を目指す。幕末の動乱と徳川政権の崩壊
- 1853年ペリー来航、1867年大政奉還、王政復古、1868年江戸城無血開城
8. 明治維新と近代日本の幕開け、1871年明治天皇「廃藩置県」「四民平等」
- 1873年征韓論争、1877年西南戦争西郷隆盛自刃
9. 大日本帝国の光と影、1888年（明治22年）大日本帝国憲法発布
- 1890年第1回衆議院選挙、1902年日英同盟1尾年韓国併合、1912年明治天皇崩御
10. 軍国主義の台頭と昭和天皇・大正モダン政党内閣制・富国強兵制へ
- 昭和恐慌から、中国、満州へ戦争の泥沼へ
11. 第2次大戦の敗北と民主主義と議会制度の確立・維新から77年

◆日本歴史の法則（渡部昇一編）

古事記が一つ日本史の出発点で、日本書紀、万葉集は古代日本人の日記。源氏物語は日本小説の原点。

日本的発想の基本、聖徳太子の17条憲法：「和

を以て貴しとなす」農耕民族のリーダーの存在万国一系の共通意識

日本史を支える3本の柱：1. 世界に例を見ない「絶えざる王朝」・建国神話が歴史時代にそのまま入り込む・他民族に征服されずに万世一系思想・先祖はすべて皇室につながる共通意識

2. 「隋神の道」国民の宗教態度の基本：神道にドグマなし＝悟りを開いた教祖が命ずる掟がない

外来宗教との共存

3. 日本人を支える「血族意識」、血のつながりがもたらした繁栄と治安の良さ、高度成長期でも外国労働者排除

日本史を動かした代表的日本人：聖徳太子（和を貴んだ天才的政治家）、藤原一族（後宮政策の天才たち）、源頼朝（本音と建て前を使い分ける達人）、楠木正成（「七生報国」思想の生みの親）、足利義満（武力によらず南北朝を合一）、織田信長（非日本的な天才武将）、明治の軍人（日露戦争を勝利に導く）、戦後の経済人（昭和期の高度経済成長をもたらす）

それ師を興し衆を動かすは国の大事なり

もし事ならば群臣共に功あり

事為らずば吾独り罪あれ

神功皇后

天の原 ふりさけ見れば 春日なる

三笠の山に 出でし月かも

阿部仲磨（698～770）

一隅を照らす 此れすなわち 国宝なり

最澄（766～822）

人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方

仇は敵なり

武田信玄（1521～1573）

◆日本を創った12人（堺屋太一編）

【風土】 1. 米作農業が発展 縄文文化（採集漁労時代） 2. 日本軍事的、政治的に孤立 文化的交流も存在 人類の文明史上先進地域 3. 国土形成上四島からなり同一文化が育ち国家として分裂したことがない

【人物】 1. 聖徳太子「神・仏・儒習会思想」の発案者：日本人の宗教観の「元祖」・仏教公認を巡る対立に決着・天皇家と曾我一族の「連立政権」 2. 光源氏 紫式部と源氏物語「上品な政治家」の原型：平安貴族の代表作、「光源氏」型政治家

の登場・「集団主義」と称する無指導

3. 源頼朝「武家中心の二重権限構造」の発明：前例のないおかしな政権、運司令官にすぎない征夷大将軍・「実権は下にある」伝統の始まり・建て前の律令制、本音の幕府

4. 織田信長「否定された日本史の英雄」：大技術革新時代の戦国の世の中、経済を変えた「楽市楽座」・時代を体現した「兵農分離」、組織の変革—専門兵科の登場・世界史上初の「絶対王政ビジョン」の登場

5. 石田三成「日本プロジェクト」の創造：中堅官僚プロジェクトの元祖、名脚本家だったが愚演に終わる・運の悪さと戦下手で身を減ぼす

6. 徳川家康「鳴くまで待って 最後の勝利者」、「成長気質」から「安定志向」へ大変革：「人質」から「大御所」へ「律儀」と「辛抱」の哲学・「狡拙、老獪」 人の一生は重荷をを負いて遠い道を行くがごとし 急ぐべからず 「お上意識」と「封建的秩序」の創造・首都機能を東国江戸に創設大都会を建設

7. 石田梅岩「勤勉と儉約」の哲学：石門心学の始祖、勤勉に働く事は人生修行・勤勉と清貧のジレンマ、贅沢は敵の発想・商慣習となった細部主義、丁寧さが組織人格論に発展

8. 大久保利通「近代官僚制度」の創建：近代化に不可欠だった官僚システム、官僚主導の原点・ドイツ帝国に学んだ国内体制作

■幹事報告■

1. 市内他クラブの8月例会について

盛岡南 8/31・9/7 休会

盛岡東 8/30・9/6 休会

盛岡中央 8/31・9/7 休会

滝ノ沢 9/2・9/9 休会

以降は状況を見ながら検討、追って連絡。

2. 国際ロータリー第2620地区小林ガバナーより熱海豪雨災害支援金のお礼状が届きました。支援金はRID2620熱海豪雨災害支援本部で取りまとめ、配分に関してはロタリーとしてできる有効な支援を検討していくとの事。

り、外国に軽蔑されない国を・内務脚として国内全般を取り仕切る、死後に更に強化された官僚制度

9. 渋沢栄一「日本的資本主義」の創始者：日本的協調主義の生みの親、個人主義の岩崎弥太郎と海運事業で対決・先ず金融制度を作り雇われ経営者の「財界」を日本に定着

・「論語」的発想の限界と合本主義の欠点を生む

10. 松下幸之助「本式経営と哲学」創出（国民的英雄）技術者の本田と経営者の松下：強力な販売網で「松下イズム」を普及、戦後の消費社会に合致・終身雇用の「日本式経営」を創始、PHP運動の発案と実施・立身出世志向の促進、「会社人間」の「職縁社会」を生む

11. マッカーサー元帥日本を「理想のアメリカ」にするための実験 試行：フィリピン奪回から日本占領へ、軍人と同時に政治家であった・平等と安全重視で「倫理と美意識」改革目指し「極東のスイス」であれ・物量崇拜と宇治信仰を生み精神性否定、家族制度崩壊の原因となる

12. 池田隼人日本の敗戦の経営破綻から経済大国の実現に奔走：「神武以来の好景気」に助けられ「所得倍増」への道を切り開く・出世遅れの大蔵官僚地域の発展は先ず工場国民の目を「豊かなアメリカ」・官僚主義体制の強化、人間の規格化と都市の人口集中へ